



天敵昆虫のニューフェイス登場!

天敵  
殺虫剤*Frankliniella vespiformis*

## アリガタ

## アリガタシマアザミウマ剤

成分：アリガタシマアザミウマ成虫 250頭/250ml

性状：暗褐色粒状



アリガタシマアザミウマ幼虫

沖縄育ちの強い味方

## ■本剤の特徴

アリガタはミナミキイロアザミウマなどのアザミウマ類を特に好んで捕食します。成虫の体長は2.5~3.0mm。幼虫、成虫とも植物上の移動は主に歩行して移動し、発達した前足でアザミウマをつかみ、捕食します。また、非休眠性ですので、施設内が一定の温度で保たれていれば、冬でも活動します。

## ■適用害虫と使用方法

農林水産省登録第21060号

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類	500~2000mL/10a (約500~2000頭)	発生初期	—	放飼

天敵

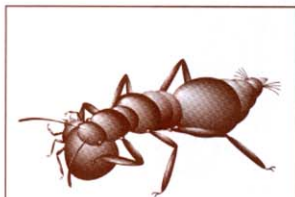
殺虫剤

天敵昆虫のニューフェイス登場!

# アリガタ

*Franklinothrips vespiformis*

## アリガタ生活史

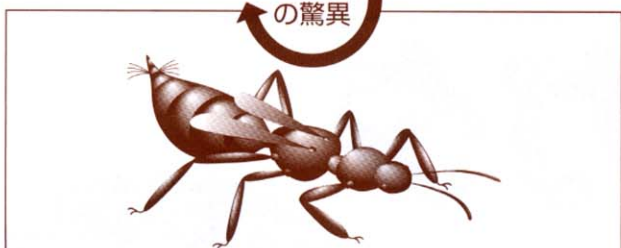


卵からかえった幼虫は害虫を食育ちます



幼虫は茎の枝別れ部分で蛹になります

47日間の驚異



成虫になったアリガタは害虫を捕食し、産卵します

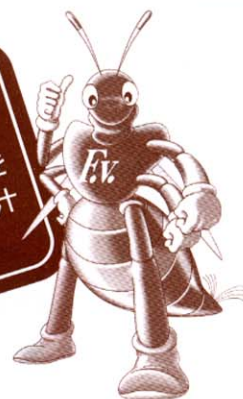
- 生涯において6つの発育段階 (25℃)  
卵 (9.2日) → 1令幼虫 (3.1日) → 2令幼虫 (4.4日)  
→ 第1蛹 (2.1日) → 第2蛹 (3.6日) → 成虫 (25.1日)
- 発育期間は25℃条件下で23日前後、  
成虫寿命は25日
- 生涯産卵数は40~70個 (20~25℃)
- 産雌単為生殖
- 活動および増殖に適した温度は20℃~30℃
- 発育零点は13℃
- 1日当たりの捕食量は10~30頭 (ミナミキイロアザミウマ)

※天敵製剤であり、生存日数が短いので入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。

※お子様の手の届かないよう御注意下さい。

## チェック

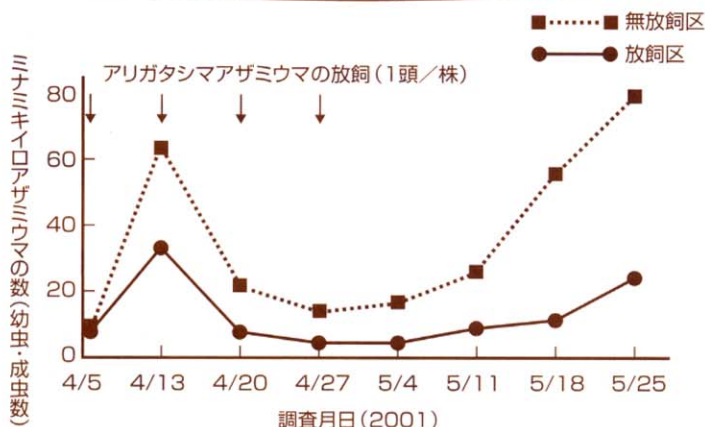
体長は2.0~2.5mmで、わが国では沖縄のみに生息します。成虫・幼虫とも植物体上のアザミウマを前肢2本で挟み口針を刺して吸汁します。



## 使い方のポイントと注意事項

- アリガタは特にアザミウマ類を好み、ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマなどに対して優れた効果を有します。
- 放飼はアザミウマ類の発生初期に行ってください。
- 放飼量は10aあたり2~8本で対象となる野菜の発育状況、害虫の発生量を考慮して増減して下さい。基本的には1株あたり1頭を目安として、放飼回数は1週間間隔で3~4回を目安として下さい。
- 放飼後1ヶ月程度経過してもアザミウマ類が多発している場合は選択性殺虫剤などを散布して、一旦、害虫の密度を下げ、再度放飼して下さい。
- アリガタの幼虫の発生が認められると、防除効果が現れる場合が多いようです。
- 隙間があると施設外へ逃亡しやすいため、ハウスの裾をしっかりと閉めたり、ネットを展張することをお勧めします。
- アリガタは下位の葉裏の太い葉脈の間の谷間で、蛹になりますので、下葉かきを行う際は蛹を取り除くことのないよう注意して下さい。
- 低温に弱いため、特に厳寒期5℃以下での使用は控え、施設内の温度を15℃以上に保つように心がけて下さい。

## 年間スケジュール



キュウリ圃場におけるミナミキイロアザミウマに対するアリガタシマアザミウマの防除効果 (安田 2003)

お問い合わせ・御注文は

販売元 **アグロフロンティア株式会社**  
〒104-6591 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー  
聖路加ガーデン内私書箱 第51号  
TEL.03-3547-4578 FAX.03-3547-4695  
http://www.agrofrontier.com

製造元 **琉球産経株式会社**